

【入賞】 体育会スポーツクライミング部 吉田智音さん（国際学部1年）

2023年『IFSC クライミング ワールドカップ』に出場

リード部門 年間ランキング6位、ブリアンソン大会では銅メダル獲得

～創部2年目にしてメダルを獲得する日本代表を輩出、「個性」「人間力向上」を重視するチームの飛躍～

摂南大学（学長：荻田喜代一）の体育会スポーツクライミング部に所属する吉田智音（よしだ さとね）選手が、2023年4月から9月にかけて開催された『IFSC クライミング ワールドカップ』に出場し、出場した全6大会で準決勝に進出。2023年 IFSC クライミング ワールドカップ年間ランキングのリード部門（男子）で6位になりました。また、ブリアンソン（フランス）開催の大会では3位入賞を果たしました。



【本件のポイント】

- 体育会スポーツクライミング部に所属する吉田智音選手が日本代表としてワールドカップへ出場
- 吉田選手8度目のワールドカップ決勝、初の表彰台に上がり銅メダル（3位入賞）を獲得
- 出場した全6大会において準決勝進出し、うち2大会において決勝進出。年間ランキングのリード部門では6位

【2023年4月以降で出場した『IFSC クライミング・ワールドカップ』 結果】

- 6月14日～18日 : リード（オーストリア・インスブルック）6位
- 6月30日～7月2日 : リード（スイス・ヴィラルール・シュル・オロン）12位
- 7月7日～9日 : リード（フランス・シャモニー）11位
- 7月14日～15日 : リード（フランス・ブリアンソン）3位
- 9月8日～9日 : リード（スロベニア、コペル）13位
- 9月22日～24日 : リード（中華人民共和国・呉江）14位

■吉田選手 コメント ～ ワールドカップ出場を振り返って ～

決勝進出率で言えば去年の方が格段に良かったのですが、悲願の表彰台に立てたことは素直に嬉しく、自信に繋がりました。シーズン後半は調子が上がらず、辛い期間もありましたが、全て経験と捉えて来シーズンに繋がりたいと考えています。

スポーツクライミングでは形の異なるホールドをつかみ、さまざまな壁を乗り越えられる経験ができます。一度登ってみれば、必ず色々な感情が交差して、クライミングの奥深さに気づけるはずです。この面白さが、もっと多くの人に伝わればいいなと思っています。



■摂南大学 体育会スポーツクライミング部とは

スポーツクライミングは、東京 2020 オリンピックから正式なオリンピック競技となり、若者に人気の「アーバンスポーツ」の一角を担っています。

摂南大学では 2022 年 4 月に、関西におけるスポーツクライミングの普及と強化を担うことを視野に入れ、スポーツクライミング部を発足しました。ヘッドコーチにリード部門で W 杯出場を経験し、現在日本代表チームのコーチを務める中貝次郎を迎え、日本代表選手から初心者までさまざまな部員が集まり、高みを目指して壁に挑んでいます。活動内容としては、週に 1 回、主にクライミングウォールに設置されたホールドを掴みながら登るボルダリングと、それらを活用しながらロープを掛けて登るリードクライミングを中心に行っています。また、同部には昨年 6 月にスポーツクライミング世界大学選手権のリード部門で 7 位に入賞した抜井亮瑛選手（国際学部 2 年）、今年、三重県代表として鹿児島国体に出場した小林舞選手（農学部 1 年）も所属しています。



ジムで練習をする吉田選手



吉田選手(右下)中貝ヘッドコーチ(右上)
抜井選手(左下)小林選手(右上 2 段目)



登るルートを思案する吉田選手(左)と
中貝ヘッドコーチ(右)

■内容に関するお問い合わせ先

摂南大学 学長室 企画課

TEL: 072-839-9450 MAIL: SETSUNAN.Recurrent@josho.ac.jp

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 摂南大学広報事務局（株式会社アンティル内）

（担当：阿部、佐藤、大瀧、藤井、水原）

TEL: 06-6225-7781 MAIL: setsunan_pr@vectorinc.co.jp